

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- ★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。
- ★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。
- ★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。
- ★2018年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

1. 第117回テーマ：「地方の『食』を東京で発信するには

～ 『上五島』などの売上げから秘訣を探る

2. 日程：平成30年4月26日（木）午後7時～9時

3. 内容：☆ゲストスピーチ 石川 美保子（いしかわ・みほこ）さん

＜際コーポレーション PR・プロモーション部＞ <https://kiwa-group.co.jp/>

地方自治体のシティ・プロモーションを、都内のレストランや居酒屋などを活用してユニークに展開している際コーポレーション（株）の取組みが、着実に地方の食材の売上げも伸ばして注目を集めています。際コーポレーションといえば、「万豚記」「紅虎餃子房」など多店舗の飲食店で知られますが、日本列島酒場「上五島」（渋谷区）や宮崎焼酎酒場「ひなた」（目黒区など）など地域に特化した店を運営し、食材ばかりか地方情報の発信拠点となっているほか、自治体と企業連携して丸の内地域の自社店舗すべてで同一地域のフェアなどを実施して、単なる食材の売り込みだけではない地域をまるごとPRする役割を果たし、成果を上げています。

地方のために都心では何をしたらウイン・ウインの関係がつかれるのかを考えた企画で、従来の単純な「生産者と消費者」の関係にとどまらない、飲食店を情報発信拠点にして交流人口も増やしていく戦略が、双方の売上げに結び付き、好循環になっているようです。一連のこうした企画の仕掛け人が石川美保子さんです。石川さんから、なぜ従来の飲食店の枠を越えた新展開に取り組み、シティ・プロモーションの新しい形が可能になったのかをお話いただき、地方と都心をつなぐビジネスのこれからのあり方などについて、一緒に考え、対話したいと思います。

☆人むすびカフェ ファシリテーター：角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場：EIJ PRESS Lab（渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスクビル5F）

5. 参加費：1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。（実費2,000円）お申し込みは25日（水）まで。

お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム：高重

東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階（〒113-0001）

TEL:03(3815)1981

Email:info@terrestrial.co.jp

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

